

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	5 情報通信システムの構築	② 施策番号	6203
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 上水道の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
上下水道部	上水道工務課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	管路、各配水場、量水器
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	設備・水質事故など早期発見と安定給水を図るとともに機能的組織化を目指す。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	水道事業の広域化を促進し、用水供給から給水までを一貫して行い安定給水を図る。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 水質事故件数 計算式	件数	受水から給水までの水質監視及び水質異常の早期発見、浄水処理の適否、配水過程における水質変動を把握し水の安全と価値を高めるため。
② 検査回数 計算式	回	毎日末端給水の残留塩素把握など、安心・安全な給水を図る。
③ 計算式		

指標名	単位	目標値	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 水質事故件数	件数	目標値	—	—	—	—	—	令和元年4月1日より水道事業については、大阪広域水道企業団に統合
		実績値	0	0	0	—	—	
		達成率						
② 検査回数	回	目標値						"
		実績値	2,454	2,399	2,062	—	—	
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1 水質管理事業	水質事故件数	件	0	0	—	12,504	11,594	—	A	ウ	◎
2 水道量水器管理業務	交換数	個	3,037	2,024	—	26,031	24,263	—	A	ウ	○
3											
4											
5											
6											
7											
8											
計	2					38,535	35,857	0			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	事故などの早期発見と安定給水を図ることで、安全安定した給水網の維持・整備を図り、上水道の充実を行う。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	安心・安全な水道水の供給を行う。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	本施策についての市民団体などと役割分担をすることは非常に少なく、現状は適切に利用者として施策の中身を知っていただくための情報公開が必要と考える。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	水道事業に適切な役割を持っていることから適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	原水の取水が無くなり、水質監視対象の変更や検査計画を見直していく必要がある。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	状況の変化により、水質検査計画等の見直しをはかり、安心・安全な給水を確保する。また、各配水場等からのデータ収集についても精度を確保する為、連続監視機器の更新が必要である。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	ファシリティマネジメント実施による現状の整備計画と整合をとる。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	水道事業の広域化に伴い整備計画の見直しを行う。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	広域化を実施することで、配水区の変更に伴い整備計画のローリングを行う。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	各種機器の適切な維持・更新により安定給水に努められたい。	